

豊中市の子育ち・子育て支援施策に関する小・中学生、高校生へのヒアリングの概要

1. 目的

豊中市子ども健やか育み条例第12条（子どもの社会参加の促進）に基づき実施。

第2期豊中市子育ち・子育て支援行動計画「こどもすこやか育みプラン・とよなか」の進行管理の一環として実施し、市が実施する施策について表明された子どもの意見を施策に反映するよう努め、子どもの社会参加の促進を図る。

2. 実施期間

令和3年(2021年)10月1日から12月27日まで

3. 実施方法

学校を訪問し、こども政策課・こども相談課職員が事業実施状況の概要を説明し、ヒアリングを実施。

4. 訪問校及び参加人数

訪問校		参加人数
小学校放課後 こどもクラブ	千成小学校	25
	豊島北小学校	47
中学校	第四中学校	7
	第十一中学校	5
	庄内さくら学園中学校	6
高校	桜塚高等学校	6
	千里青雲高等学校	13
	豊島高等学校	6
	刀根山高等学校	14
	豊中高等学校	7
合計		136

5. 主な意見

質問1.【重点施策1】ひろめよう、それぞれの居場所～子どもの居場所づくり～

(1) どんな場所が近くにあったら行きたいですか？

- ・ 自習スペース、少人数で集まることができるフリースペース、球技ができる場所、屋内で運動できる（遊べる）場所、他学年や他学校の交流の場、地域の人たちとの交流の場。

(2) どんなイメージがありましたか？実際の活動の様子を見てイメージは変わりましたか？

- ・ 限られた人が行くところ、福祉的なイメージ、自分とは関係ないというイメージ。
- ・ 思ったより居場所の数が多い。
- ・ 子どもたちが集まる楽しい場所だと思った。
- ・ 誰でも気軽に行けるイメージになった。
- ・ 活動を見て行ってみたいと思った。

(3) 行ってみたいと思いますか？

- ・ 正直、思わない。
- ・ いろんな体験ができるといい。プログラムがいっぱいあったら行きやすい。
- ・ 近くにあったら行ってみたい。

(4) どんな情報発信をすればみなさんに情報が届きますか？

- ・ LINE、インスタのストーリー、TikTokなどのSNSでの発信。
- ・ 学校でプリント配布する。

質問2【重点施策2】みんなで寄り添う、健やかな育ち～人ひとりの育ちにあわせた相談支援～

(1) 子ども向けの相談ページについて感想を教えてください。

※ホームページ案の資料を見てご意見をいただいています。

- ・ どんな人が相談受けてくれるのか相談員のイメージがわかるようにする。
- ・ 相談員の似顔絵やイラストは実写ではなく、ポップなイラストを入れるのがよい。マチカネくんのようなキャラクターを載せて、「相談しやすいよ」というアピールをした方がよい。
- ・ 文字は可能な限りなくし、図やイラストを多くして、カラフルにし、興味をひく内容にするべき。
- ・ 困っている本人だけではなく、心配した友達が相談してもよいことを盛り込んでほしい。
- ・ 自身の悩みを小さいものと捉えがちなので、小さな悩みでも相談していいことを伝える。
- ・ できるだけ寄り添うことを強調した方がよい。
- ・ HPの中に、問合せフォームなど、そのまま入力すれば相談できるようにしたらハードル下がっていい。
- ・ 小学生など小さな子にはアクセスが難しいので、SOSレターなどが良い。
- ・ いじめ、虐待、ジェンダー等、様々な内容の悩みに対応できる旨を伝えるべき。
- ・ 相談カードについて、カードだと小さくなくなりそうなので、クリアファイルやボールペンなど文房具の方が使えて目にする機会も多いと思う。

(2) SNS でひやっとした経験はありますか？

- ・知らない人に会おうといわれた、知らない人から脅迫メール、架空請求など。
- ・子どもの相談ページに SNS トラブルの対処方法等の動画を載せてほしい。

(3) いじめについて、未然防止や早期発見・早期対応にどのようなことが効果的だと思いますか？

- ・名前書いても書かなくてもいい意見箱。
- ・学校アンケートの回数を増やす。
- ・何がいじめにあたるのかを紹介する内容を動画にして挙げる。(被害者に焦点を当ててるのではなく、どんなことをしたら加害者になるのかを知らせる。)

質問3 子育て支援

(1) 学校で担任の先生以外に話す大人はいますか？どんなことを話しますか、また話したいですか？

- ・クラブの顧問の先生、保健室の先生。
- ・スクールカウンセラーは、予約が必要だったり、日が決まっていたりで、行きにくい。相談に行くことを周りに知られたくない。

(2) 学校以外での、どんな体験活動に興味がありますか？

- ・多世代交流、ライブ、スポーツ、スポーツ観戦、ボランティア、職場体験、留学。
- ・実際体験しないとわからないことが多い。地域の人とも関われ、いろんな学びがあると思う。
- ・体験活動の機会がコロナのため確実に減少している。

質問4 子育て支援

(1) 「子育てが楽しいまち」はどんなイメージですか？

- ・子育て世代が多い、周りに同じ環境のママ友が多いと楽しそう。
- ・親同士、地域の人とのつながりがある。
- ・子どもの育ち、どんどん成長していくのが実感できるまち
- ・公園に小さい子いっぱいいると楽しいイメージ。
- ・保育園・幼稚園、公園が充実し、公園、道路、歩道、信号などがきれいに整備されているまち。
- ・子育てに完璧を求めなくていいと思うので、子育て失敗談などのエピソード発信

質問5 安心・安全なまちづくり

(1) 安全に、安心して暮らすためにどんなことが必要だと思いますか？

- ・110番の家、防犯カメラ、見回り、地域の人との関わり。
- ・歩行者、自転車用に道を広くしてほしい。
- ・横断歩道や信号、街灯、公園などの整備。
- ・自転車通学で小学生や高齢者などすれ違うときに危険を感じるので自転車道を整備してほしい。
- ・「通行量がおおい」という看板や、小学校にあるような事故多発エリアも記載された校区マップが必要。

質問6 新型コロナウイルス感染症の影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症について、自分の生活で影響を受けたこと、あったらよいなと思ったもの・こと・場所等を教えてください。

- ・行事が減って、友達との関わりが少なくなっていると感じる。
- ・マスク生活になり、表情がよみとりにくく、会話がしにくい。
- ・自分たちの青春をとりあげられた。
- ・家族の時間が増えたが、その分家庭内のストレスも増えた。
- ・運動できる場所、何でもできる部屋。

質問7 全般について

(1) 子ども施策全般について、今日の説明やヒアリングを受けての感想も含めて教えてください。

- ・話を聞いて、市の取組みに興味を持った。
- ・自分になにができるか考えていきたい。
- ・普段、こういうのがあったら良いなと思うことがあっても、いざこのようなヒアリングの場では出てこない。思ったときに考えを気軽に伝えられるものがあるといい。スマホで気軽に意見を言えるといい。
- ・高校側の協力が必要だが、Googleクラスルームを使うといい。その際、「答えてもいいよ」では意見が出ないので、「あなたの意見で生活が変わる」「意見を必ず出して」というような発信がいる。タブレットを使いたい人もいる。
- ・アンケートに答えたらなんらかポイントやラインスタンプがもらえると参加者が増えるかも。
- ・ヒアリングする対象が増えればいろんな意見が出てきていい。
- ・市が子どもの意見を聴くというのはいいとおもった
- ・新たに知ったことが多かった。もっとうまく日ごろから知る機会があればいいな。
- ・今日は市役所の人っていうからもっと固い感じかと思った、こういったグループでぎくばらんに座談会的に話せる方法はよい。
- ・興味引くYouTubeやわかりやすい動画などで発信があるといい。
- ・今日の機会も良かったが結局人数が限られているので、伝えられる人が伝えていかないとと思った。生徒会なら特に発信できるかもしれない。
- ・運営に携わることに興味ある人もいるので、発信側も募集したらいい。
- ・市の子ども施策を知れて、安心した。守られている実感がした。
- ・小中学生のタブレットから直接意見を言える機能があると、言いやすくなる。
- ・学校の道徳の授業等でこういうのがあったらもっとたくさん意見が出ると思う。
- ・説明資料の文字が多すぎる。白黒でわかりにくい。映像の説明があったらわかりやすい。
- ・豊中市が子どもに寄り添ってくれているのが知れた。豊中市が身近にいると感じた。